

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年10月23日

上場取引所 大

上場会社名 FCM株式会社

コード番号 5758 URL <http://www.fc-m.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 市居 律雄

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 川森 晋治

TEL 06-6975-1324

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日

平成24年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	7,871	△20.2	△21	—	4	△93.3	△32	—
24年3月期第2四半期	9,866	26.2	66	△65.6	71	△69.3	47	△68.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△18.79	—
24年3月期第2四半期	27.66	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
25年3月期第2四半期	9,177		3,496		38.1		2,052.09	
24年3月期	9,818		3,548		36.1		2,082.18	

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 3,496百万円 24年3月期 3,548百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
25年3月期	—	10.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,300	△9.7	120	△28.7	160	△22.5	70	△38.1	41.08

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	1,704,267 株	24年3月期	1,704,267 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	320 株	24年3月期	269 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	1,703,967 株	24年3月期2Q	1,704,080 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。
2. 平成25年3月期の業績につきまして、平成24年7月24日に公表しました内容から変更しております。詳細は、平成24年10月23日付けの「平成25年3月期第2四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異ならびに通期業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	8
(7) その他の注記事項	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の業績は、売上高7,871百万円（対前年同期比20.2%減）、加工売上高1,453百万円（対前年同期比7.9%減）、営業損失21百万円（前年同四半期は営業利益66百万円）、経常利益4百万円（対前年同期比93.3%減）、四半期純損失32百万円（前年同四半期は四半期純利益47百万円）となりました。セグメント別の業績概要は、以下の通りです。

(電子機能材事業)

電子機器や電子部品に使用されている材料・部品の表面処理加工を主とする電子機能材事業では、売上高は2,335百万円（対前年同期比6.8%減）、加工売上高は1,042百万円（対前年同期比5.1%減）となりました。第1四半期に引き続いてパワーエレクトロニクス関連が停滞気味であることに加え、自動車部品関連でも一部に在庫調整の動きが表れています。市場全体ではスマートフォンやタブレット端末関連が好調な一方、携帯電話・ノートPC・薄型テレビは厳しいなど、向け先や品種によって大きく勝ち負けが決まる不安定な状況が続いています。当セグメントに属している研究開発費を含む部門において、現時点では前年より損益が悪化しておりますが、試作開発品の量産化に伴い急速に改善する傾向にあります。結果としてセグメント損失10百万円（前年同四半期はセグメント損失0百万円）となりました。

(電気機能線材事業)

電線・配線用ケーブル・通信用ケーブルなどの伸線加工を主とする電気機能線材事業では、前年同期に比べ銅の価格水準が大きく下落したことに加え、同じく前年同期に出荷が集中していた海外向け案件が当第1・第2四半期にはなかったことなどから売上高は5,535百万円（対前年同期比24.8%減）、加工売上高410百万円（対前年同期比14.4%減）となりました。設備用電線向け加工などが底固く推移し、異型線分野での新規受注の寄与もありましたが、ボリュームの大きかった前述の海外向け案件がなくなった結果、セグメント利益は15百万円（対前年同期比78.4%減）となりました。

(注) セグメント利益又は損失の合計は四半期損益計算書の経常利益と一致しております。なお、詳細は(6)セグメント情報等をご覧ください。

単位(百万円)

	平成24年3月期 第2四半期累計期間				平成25年3月期 第2四半期累計期間				増減率	
	売上高	構成比	加工売上高	構成比	売上高	構成比	加工売上高	構成比	売上高	加工売上高
電子機能材事業	2,506	25.4%	1,098	69.6%	2,335	29.7%	1,042	71.8%	△6.8%	△5.1%
電気機能線材事業	7,359	74.6%	479	30.4%	5,535	70.3%	410	28.2%	△24.8%	△14.4%
合計	9,866	100.0%	1,578	100.0%	7,871	100.0%	1,453	100.0%	△20.2%	△7.9%

(注) 当社では売上高から主要な材料費等を控除した金額を「加工売上高」と称し、経営指標として用いています。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(貸借対照表の状況)

資産合計は9,177百万円となり、前期末に比べ640百万円減少しました。これは現金及び預金が176百万円、受取手形及び売掛金が304百万円、有形固定資産が113百万円減少したことなどによるものです。負債合計は5,680百万円となり、前期末に比べ589百万円減少しました。これは買掛金が227百万円、借入金が264百万円、未払法人税等が66百万円、役員退職慰労引当金が47百万円減少したことなどによるものです。純資産合計は3,496百万円となり、前期末に比べ51百万円の減少となりました。これは、前期の期末配当と当第2四半期累計期間の四半期純損失を反映したものです。

(キャッシュフローの状況)

営業活動によるキャッシュフローは233百万円の収入となりました。主な収入は減価償却費232百万円と売上債権の減少額304百万円であり、主な支出は仕入債務の減少額227百万円と法人税等の支払額68百万円であります。投資活動によるキャッシュフローは、有形固定資産の取得による支出136百万円などにより115百万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュフローは、短期借入金の純減少額100百万円、長期借入金の返済による支出164百万円、配当金の支払額16百万円などにより294百万円の支出となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物の残高は前期末に比べ176百万円減少し、667百万円となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

欧州の債務危機を背景に中国やインドなどの新興国の成長に鈍化が見られるなど、世界的な景気減速懸念が高まっています。当社においても、民生品分野では需要低迷を受けての生産調整、電線分野も出荷の回復テンポが緩やかなままなど事業環境は総じて厳しいものと考えています。そのような状況のなか、通期の業績予想については市場や得意先の動向が予想しがたく数値を公表していませんでしたが、営業・受注体制の強化や収益性の改善、また新規アイテムの立ち上げ・獲得に一定の目処がついたため今回の発表とします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	844,648	667,932
受取手形及び売掛金	4,041,013	3,736,641
仕掛品	252,602	223,872
原材料及び貯蔵品	258,435	264,432
繰延税金資産	18,910	38,937
その他	58,680	52,167
貸倒引当金	△6,823	△6,303
流動資産合計	5,467,466	4,977,680
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	956,279	911,599
機械及び装置（純額）	870,490	871,145
土地	2,068,155	2,057,581
建設仮勘定	100,851	34,232
その他（純額）	118,446	125,864
有形固定資産合計	4,114,223	4,000,423
無形固定資産	35,262	12,404
投資その他の資産		
投資有価証券	23,525	20,640
繰延税金資産	164,606	156,264
その他	33,513	30,265
貸倒引当金	△20,462	△20,462
投資その他の資産合計	201,182	186,706
固定資産合計	4,350,668	4,199,535
資産合計	9,818,134	9,177,215

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,024,604	2,796,960
短期借入金	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	1,214,936	1,254,936
未払法人税等	73,937	7,647
その他	317,767	331,170
流動負債合計	4,731,245	4,390,714
固定負債		
長期借入金	1,104,328	899,360
長期未払金	8,116	4,058
退職給付引当金	313,976	329,245
役員退職慰労引当金	101,590	54,475
その他	10,839	2,709
固定負債合計	1,538,850	1,289,848
負債合計	6,270,096	5,680,562
純資産の部		
株主資本		
資本金	687,749	687,749
資本剰余金	826,871	826,871
利益剰余金	2,036,288	1,987,236
自己株式	△703	△773
株主資本合計	3,550,205	3,501,083
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,166	△4,430
評価・換算差額等合計	△2,166	△4,430
純資産合計	3,548,038	3,496,653
負債純資産合計	9,818,134	9,177,215

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	9,866,406	7,871,675
売上原価	9,131,066	7,262,154
売上総利益	735,339	609,521
販売費及び一般管理費	669,073	630,922
営業利益又は営業損失(△)	66,265	△21,401
営業外収益		
受取利息	9	4
受取配当金	303	470
助成金収入	12,253	27,252
スクラップ売却益	341	6,282
その他	3,626	2,597
営業外収益合計	16,533	36,608
営業外費用		
支払利息	9,726	8,261
売上割引	1,423	2,116
営業外費用合計	11,149	10,378
経常利益	71,650	4,828
特別利益		
固定資産売却益	—	832
受取保険金	6,500	—
特別利益合計	6,500	832
特別損失		
固定資産売却損	679	4,187
固定資産除却損	6,013	12,670
減損損失	—	27,551
特別損失合計	6,693	44,409
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	71,457	△38,747
法人税、住民税及び事業税	11,226	3,703
法人税等調整額	13,087	△10,439
法人税等合計	24,314	△6,736
四半期純利益又は四半期純損失(△)	47,143	△32,011

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	71,457	△38,747
減価償却費	220,578	232,873
減損損失	—	27,551
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△1,595	△47,115
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	17,647	15,269
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△853	△519
受取利息及び受取配当金	△312	△474
支払利息	9,726	8,261
有形固定資産売却損益 (△は益)	679	3,354
固定資産除却損	6,013	12,670
売上債権の増減額 (△は増加)	74,540	304,371
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△55,583	26,702
仕入債務の増減額 (△は減少)	△169,710	△227,643
その他	△100,019	△6,803
小計	72,568	309,749
利息及び配当金の受取額	312	474
利息の支払額	△9,648	△8,246
法人税等の支払額	△137,455	△68,918
その他	8,099	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△66,123	233,058
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△611	△623
有形固定資産の取得による支出	△625,370	△136,570
有形固定資産の売却による収入	73	19,401
その他	△777	2,243
投資活動によるキャッシュ・フロー	△626,685	△115,549
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	500,000	△100,000
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△156,638	△164,968
長期未払金の返済による支出	△4,058	△4,058
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△8,129	△8,129
自己株式の取得による支出	△109	△70
配当金の支払額	△90,398	△16,999
財務活動によるキャッシュ・フロー	540,666	△294,224
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△152,142	△176,715
現金及び現金同等物の期首残高	317,224	844,648
現金及び現金同等物の四半期末残高	165,081	667,932

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	電子機能材事業 (千円)	電気機能線材事業 (千円)	合計 (千円)
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	2,506,495	7,359,910	9,866,406
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,506,495	7,359,910	9,866,406
セグメント利益又は損失 (△)	△177	71,828	71,650

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期損益計算書の経常利益と一致しております。

2. セグメント利益には適当な配賦基準によって各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。なお、財務収益費用についても全社的に管理されておりますが、金額的影響が軽微であるため各報告セグメントに配賦しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	電子機能材事業 (千円)	電気機能線材事業 (千円)	合計 (千円)
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	2,335,758	5,535,916	7,871,675
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,335,758	5,535,916	7,871,675
セグメント利益又は損失 (△)	△10,673	15,502	4,828

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期損益計算書の経常利益と一致しております。

2. セグメント利益には適当な配賦基準によって各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。なお、財務収益費用についても全社的に管理されておりますが、金額的影響が軽微であるため各報告セグメントに配賦しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

報告セグメントに計上又は配分された減損損失はありません。報告セグメントに配分されていない減損損失は27,551千円であります。

(7) その他の注記事項

(偶発債務)

当第2四半期累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

当社が加入する複数事業主制度の「大阪鍍金工業厚生年金基金」は、平成24年9月10日開催の代議員会で解散の方針を決議いたしました。

当決議により、同基金解散に伴い費用の発生が見込まれますが、現時点では解散に伴う合理的な費用を算定できません。